

12. 子どもや高齢者を対象にした絵本の読み聞かせ

上天草市図書館ボランティアの会

代表者 瀨崎 富雄

①活動の目的

「読書離れ」と言われる今日、子ども達に「読み聞かせ」を実施することにより、子ども達が本に親しみを持ち、読書を始めるきっかけ作りとなるように、推進・支援を主たる目的としています。

また平成 21 年度からは、高齢者社会のため来館が困難な高齢者への読書支援も念頭に置き、読書の楽しみを再認識してもらうのと同時に、「読み聞かせ」等を通じコミュニケーションを図ることによって喜んでもらうことも目的としています。

②活動概要

最近では、ゲームやインターネット、ケータイといった電子メディアの普及に伴い、読書にかかる時間が以前と比べ、減少していると言われていています。だからといって、すぐに読書の時間を増やし、習慣になるかといっても、なかなか容易には身に付きません。そこで、子どもたちから「本の世界」に親しんでもらい、結果、読書を始めるきっかけ作りになればとの思いで現在の活動を行ってきました。

また平成 21 年度からは、高齢者向けの読み聞かせ活動もスタートし、平成 22 年度も引き続き高齢者養護施設での訪問おはなし会のほか、独居高齢者宅への訪問読み聞かせ、来館が困難な方への貸出・返却の手助け活動を実施してきました。

通常の活動としては、まず保育園、小・中学校に出向いての読み聞かせ活動の他、図書館で毎月実施する定例おはなし会、図書館イベント時の活動協力に加え上記の独居高齢者宅への訪問読み聞かせ等を行なっています。

活動対象地域は、上天草市内の各保育園、小学校、中学校、高齢者養護施設、市内在住の独居高齢者宅（希望者）、上天草市立図書館です。

今回の助成金の使途としては、各おはなし会で使用する資料（絵本・紙芝居・ペープサート・パネルシアター・人形等）の製作材料費、事務用品（マジック・広用紙・はさみ等）費用、イベント案内印刷物（用紙・インク）費用、イベント参加児童への記念品費用、おはなし会で使う工作の材料（折り紙・のり・テープ・絵具等）費用、物語の中にある料理を実際につかってみるおはなし会の食材費、各施設訪問時の交通費（ガソリン代）、読み聞かせ活動における研修会への交通費および講師謝礼費用等に活用させていただきました。

なお、平成 22 年度は、2010 国民読書年と私達の会の設立 10 周年迎えた年度でした。この記念すべき年度に、これまでの活動の成果を関係した多くの子ども達や独居高齢者の方々を招いての記念イベントの案がありましたが費用面で課題がありました。

しかし、7月に貴団体の助成内定の連絡をいただき、充実した内容のイベント開催を企画することができました。

イベントは大成功で、予定の 100 人を大幅に超え約 150 人の参加を得ました。反省会では、会員の皆さんから改めて助成をしていただいたことに感謝の声が上がりました。

上天草市図書館ボランティアの会は、全員が子ども達の健やかな成長を願う人の集まりです。これまでは、メンバーや参加者達が材料を持ち合ったり、提供していただいたりして、小さいグループで地味に活動を行ってきましたが、私たちの活動が助成を受けたことによりメディアなどを通じて多くの市民の方に認知され励ましや感謝の言葉を頂戴しました。

今回の助成を機に会員の意識も高まり、今まで以上に活発な読書推進活動を行っていかうと全員で気持ちも新たにしているところです。

<活動状況写真①>



※独居高齢者宅での読み聞かせ風景

<活動状況写真②>





※上記写真はボランティアの会設立10周年記念イベントの様子
(上天草市長も自ら読み聞かせに参加。右下写真中央の半袖シャツ男性が市長)

<参考資料>

下記はイベントの開催要項を圧縮したものです。

2010国民読書年 読書ボランティア10周年合同おはなし会

「○○○○○」実施要項

1. 趣 旨

現在、ゲームやインターネットなどの電子メディアの普及に伴い、子ども達の読書離れが進んでいます。しかし、子ども達は読書活動を通じて、言葉を学び、感受性を豊かにすることが大きく期待されます。

そこで今回、ボランティア発足から5年、10年という記念の年であり、また国民読書年ということで、各地区の読み聞かせグループによる合同おはなし会を開催し、親と子が楽しくふれあい、本に親しむきっかけ作りになればと考えています。

2. 日 時

平成22年8月22日（日曜日） 13:30 開始

3. 会 場

総合センター「アロマ」1F 研修室1・2

4. 対 象

市内在住の園児、小学生および保護者（一般の観覧も可）

5. 参 加 者

- ・上天草市長 川端祐樹（読み聞かせ）
- ・たんぼぼ、しゃぼんだま、ぼっかぼか、おはなしえとわ〜る（読み聞かせグループ）
- ・熊日童話会

5. 内 容

・上天草市長および各ボランティアグループによる読み聞かせ

・熊日童話会による童話語り

・おはなし会閉会后、風船や折り紙遊びのコーナー

※実施内容は別紙を参照

6. 周知方法

・周知ポスター（庁舎内、図書館内、学校・保育園内）

・上天草市広報（7、8月号の掲載を予定）

・回覧によるチラシ案内

・防災無線放送 等

7. その他

夏休み期間中の開催のため、各学童保育施設、デイサービスおよび保育園には、直接イベントの案内を出し、親子での来場を促す。

子ども達だけでなく、学校・保育関係者にも周知・来場を呼びかける。

演目内容

① 読み聞かせ・・・読み手：川端祐樹（上天草市長）

② 読み聞かせ・・・読み手：たんぼぼ（大矢野）

③ 人形劇・・・演者：しゃぼんだま（松島）

④ 歌・手遊び・・・演者：ぽっかぽか（姫戸）

⑤ 紙芝居・・・読み手：えとわ〜る（龍ヶ岳）

⑥ 童話・・・語り手：熊日童話会

⑦ 閉会后・・・風船、折り紙遊びのコーナー

※①～⑥までの演目順番は、おはなし会のバランスを考え、変更する場合があります。

③決算報告書

収入	大同生命厚生事業団助成金	100,000-
支出	資料作成費	3,000-
	事務用品代（応用紙など）	3,940-
	イベント参加記念品など	9,146-
	イベント案内印刷物など	1,155-
	工作用品代	14,985-
	作って楽しむおはなし食材	7,000-
	交通費（ガソリン代）	37,972-
	研修会費用（謝礼など）	22,802-
	合計	100,000-